



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 フォスター電機株式会社  
 コード番号 6794 URL <http://www.foster.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 宮田 幸雄  
 (氏名) 杉原 茂

TEL 042-546-2305

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	25,033	15.0	517	△74.1	611	△69.7	74	△93.8
23年3月期第1四半期	21,773	21.4	2,000	74.7	2,014	64.6	1,213	68.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △276百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 256百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.21	—
23年3月期第1四半期	52.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	63,473	33,879	50.6	1,377.16
23年3月期	65,480	34,912	50.7	1,421.88

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 32,127百万円 23年3月期 33,170百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	18.00	—	28.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	6.4	1,000	△75.1	1,000	△74.7	500	△78.3	21.43
通期	105,000	3.6	8,000	6.0	7,800	4.1	5,000	8.9	214.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	23,506,015 株	23年3月期	23,506,015 株
24年3月期1Q	176,982 株	23年3月期	176,982 株
24年3月期1Q	23,329,033 株	23年3月期1Q	23,329,277 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、今後様々な要因によって変動する可能性があります。なお、連結業績予想に関する定性的情報は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表等	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益及び四半期連結包括利益計算書	6
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記	10
	(5) セグメント情報等	10
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）における世界経済は、総じて緩やかな回復基調にて推移しつつも、米国や一部の新興国での景気減速懸念やギリシャ危機の再燃をはじめとする欧州財政問題等により、先行きに対する不透明感が増しました。わが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、企業の生産活動や個人消費等の経済活動は落ち込み、厳しい状況が続きました。また復旧・復興が進みつつあるなか、電力不足の克服も大きな課題となりました。

当社グループの属する電子機器および電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末等の機器が引き続き部品需要を牽引する一方で、震災の影響により、生産設備の毀損やサプライチェーンが寸断される等、安定した生産活動が困難な状況となりました。加えて、電力供給の制約への対応が重要課題となるとともに、中国の採掘・輸出規制によるレアアース価格高騰が大きな問題となりました。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、震災により一部の取引先での生産が停滞し、受注が減少する等の影響はありましたが、引き続き好調なヘッドホン・ヘッドセットの需要が拡大したことにより、25,033百万円（前年同期比15.0%増）となりました。しかしながら利益面につきましても、特に当社グループ製品の基幹部品の一つであるレアアース・マグネットの原材料価格において、昨年来の高騰に加え4月時点で前年同期比約6倍という想定をはるかに超える異常な事態となりました。そのため利益を圧迫し、連結営業利益は、517百万円（前年同期比74.1%減）、連結経常利益は611百万円（前年同期比69.7%減）、連結四半期純利益は74百万円（前年同期比93.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [音響部品・製品事業]

オーディオ用スピーカ・スピーカシステムは市場縮小の影響を受けましたが、アンプ内蔵アクティブスピーカ機器は順調に推移いたしました。薄型テレビ用スピーカ・スピーカシステムは価格低下圧力が強い中、数量の伸びも鈍化傾向にありました。オーディオ用ヘッドホン等の出荷は堅調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は6,208百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

#### [自動車用部品・製品事業]

自動車生産および販売台数は、日本国内の自動車生産が震災により大幅な減産を余儀なくされた影響を受けましたが、その他の地域では比較的好調に推移し、車載用スピーカ・スピーカシステム等の生産は前年同期並みとなりました。

その結果、当事業の売上高は6,605百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

#### [情報、通信機器用部品・製品事業]

携帯電話用ヘッドセット等の生産、出荷は順調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は11,800百万円（前年同期比30.4%増）となりました。

#### [その他]

「フォステクス」ブランドの製品等の売上高は419百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は主に売掛金の減少により前連結会計年度末に比べ2,007百万円減少して63,473百万円となりました。負債は主に未払法人税等の減少により前連結会計年度末に比べ973百万円減少して29,593百万円となりました。純資産は、配当金の支払、為替換算調整勘定の減少等により前連結会計年度末に比べ1,033百万円減少して33,879百万円となりました。また自己資本比率は前連結会計年度末比0.1ポイント減の50.6%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより7,952百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、売上債権の増加等により880百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、設備投資等により 1,409 百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金の増加等により 975 百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 4 月 28 日公表の第 2 四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。なお、通期の業績予想（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）につきましては、第 2 四半期終了時点にて見直しを行います。詳細につきましては、本日（平成 23 年 7 月 28 日）別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせを」ご覧ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

#### 【追加情報】

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

当第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日）を適用しております。

(在外子会社における大韓民国採択国際会計基準の適用)

当第 1 四半期連結会計期間より、連結子会社である ESTec コーポレーションの連結財務諸表につき、大韓民国において 2011 年 1 月 1 日以後開始する事業年度より大韓民国株式市場での公開企業に対し大韓民国採択国際会計基準が強制適用されることから、当該会計基準を適用した ESTec コーポレーションの連結財務諸表を基礎として、当社グループの連結財務諸表を作成しております。当該会計基準は遡及して適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

遡及適用を行う前と比較し、前第 1 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益並びに 1 株当たり純資産額及び 1 株当たり四半期（当期）純利益に与える影響は軽微であります。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前連結会計年度の期首残高は 164 百万円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,989	8,520
受取手形及び売掛金	19,247	16,582
製品	9,906	9,744
原材料	5,182	5,376
仕掛品	989	1,037
貯蔵品	402	593
短期貸付金	63	63
未収入金	892	938
繰延税金資産	1,050	835
その他	1,467	1,170
貸倒引当金	△833	△713
流動資産合計	46,358	44,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,441	4,394
機械装置及び運搬具（純額）	5,808	6,288
工具、器具及び備品（純額）	1,696	1,680
土地	1,018	1,022
建設仮勘定	2,053	853
有形固定資産合計	14,018	14,239
無形固定資産		
のれん	299	273
ソフトウェア	552	506
借地権	542	525
その他	89	93
無形固定資産合計	1,483	1,399
投資その他の資産		
投資有価証券	2,199	2,143
長期貸付金	113	97
長期前払費用	921	1,076
繰延税金資産	123	118
その他	270	256
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,619	3,683
固定資産合計	19,121	19,322
資産合計	65,480	63,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,404	7,387
短期借入金	14,595	15,841
1年内返済予定の長期借入金	73	71
未払金	2,576	2,109
未払法人税等	2,133	266
未払費用	973	913
繰延税金負債	781	780
賞与引当金	553	339
その他	365	491
流動負債合計	29,458	28,202
固定負債		
長期借入金	251	441
繰延税金負債	510	550
退職給付引当金	158	185
役員退職慰労引当金	61	61
その他	126	151
固定負債合計	1,109	1,391
負債合計	30,567	29,593
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,770	3,770
資本剰余金	6,372	6,372
利益剰余金	30,924	30,352
自己株式	△133	△133
株主資本合計	40,934	40,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52	19
為替換算調整勘定	△7,816	△8,254
その他の包括利益累計額合計	△7,763	△8,234
少数株主持分	1,741	1,751
純資産合計	34,912	33,879
負債純資産合計	65,480	63,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	21,773	25,033
売上原価	17,242	22,045
売上総利益	4,530	2,987
販売費及び一般管理費	2,530	2,470
営業利益	2,000	517
営業外収益		
受取利息	5	15
受取配当金	13	16
為替差益	—	35
雑収入	77	76
営業外収益合計	96	145
営業外費用		
支払利息	26	38
為替差損	46	—
雑損失	8	13
営業外費用合計	82	52
経常利益	2,014	611
特別利益		
貸倒引当金戻入額	26	—
国庫補助金	—	61
特別利益合計	26	61
特別損失		
有形固定資産除却損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	2,040	669
法人税、住民税及び事業税	322	305
法人税等調整額	266	208
法人税等合計	588	514
少数株主損益調整前四半期純利益	1,451	155
少数株主利益	238	80
四半期純利益	1,213	74



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,451	155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168	△33
為替換算調整勘定	△1,026	△398
その他の包括利益合計	△1,195	△432
四半期包括利益	256	△276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44	△396
少数株主に係る四半期包括利益	211	120

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,040	669
減価償却費	564	737
のれん償却額	23	24
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△7	△15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13	32
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△43	△153
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△234	△212
有形固定資産除却損	—	2
受取利息及び受取配当金	△19	△32
支払利息	26	38
為替差損益 (△は益)	△172	△196
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,063	2,273
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,041	△400
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,419	376
未収入金の増減額 (△は増加)	△13	△16
未払金の増減額 (△は減少)	210	△443
その他	△281	382
小計	1,424	3,066
利息及び配当金の受取額	24	32
利息の支払額	△26	△38
法人税等の支払額	△258	△2,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,164	880
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△100	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,135	△1,114
有形固定資産の売却による収入	0	5
無形固定資産の取得による支出	△239	△18
定期預金の増減額 (△は増加)	△4	△161
短期貸付金の増減額 (△は増加)	21	14
長期貸付けによる支出	△6	△2
長期貸付金の回収による収入	5	2
長期前払費用の取得による支出	—	△148
その他	△21	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,478	△1,409

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	374	1,557
長期借入れによる収入	—	221
長期借入金の返済による支出	—	△27
配当金の支払額	△699	△653
少数株主への配当金の支払額	△77	△122
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△402	975
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65	△102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△783	344
現金及び現金同等物の期首残高	9,908	7,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,125	7,952

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響 部品・製品事業	自動車用 部品・製品事業	情報、通信機器用 部品・製品事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,890	6,508	9,051	322	21,773	-	21,773
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	5,890	6,508	9,051	322	21,773	-	21,773
セグメント利益	567	450	947	57	2,023	△23	2,000

(注) 1 セグメントの調整額△23百万円は、のれん償却額であります。  
2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響 部品・製品事業	自動車用 部品・製品事業	情報、通信機器用 部品・製品事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,208	6,605	11,800	419	25,033	-	25,033
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,208	6,605	11,800	419	25,033	-	25,033
セグメント利益	△390	111	734	86	542	△24	517

(注) 1 セグメントの調整額△24百万円は、のれん償却額であります。  
2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

・各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
音響部品・製品事業	オーディオ用及びテレビ用スピーカ並びにスピーカシステム、アンプ内蔵スピーカ、ヘッドホン等
自動車用部品・製品事業	車載用スピーカ及びスピーカシステム等
情報、通信機器用部品・製品事業	携帯電話用ヘッドセット及び小型スピーカ、業務用マイクロホン等
その他事業	「フォステクス」ブランドの製品、物流サービス等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)  
該当事項はありません。